

平成30年11月21日

松阪市議会
議長 中島 清晴 様

報告者 松岡 恒雄

研修報告書

標記の件について、下記のとおり研修会に参加致しましたのでその内容等を報告致します。

記

1. 日程 平成30年10月23日(火)・11月9日(金)
2. 研修会名 対話型議会報告会のコツ研修
3. 会場 公益財団法人 松阪市勤労者センター 労働会館2F
4. 参加者 公明党会派 西村 友志 松岡 恒雄 山本 節
5. 講師 釘山 健一 一般社団法人 会議ファシリテーター普及協会代表
小野寺 郷子 " " 副代表
6. 目的 議員のスキルアップと共に、議会改革の一環として、意見交換会や意見聴取会、各種会合をいかにして参加して良かった、楽しかったと感じていただき、且つ個々の意見や考え方等、市民の方々の声をくみ取る手法の学びとなり、今後の議会報告会や常任委員会、広報広聴委員会の意見交換会等の参考、準備とするため。
7. 講師紹介 **【釘山 健一】**
学習方法の開発に情熱を燃やし続けた熱血教師時代。ベンチャー企業の営業部長として猛烈に働いたサラリーマン時代。その後、環境 NPO スタッフとして数多くの「協働事業」に関わり、2005年には「愛・地球博」における EXPO エコマネー事業の事務局長となる。この3つのキャリアの中で培ってきた会議の仕方について独自のノウハウを確立し、2006年4月「会議ファシリテーター普及協会(MFA)を立ち上げる。その講座は、具体的で、決して眠くならないと大好評を得ている。年間約100本の実績。

8. 内容

◇第1日目:10月23日(火)

13:00～最新の会議スキルである「ファシリテーション」の基本

- 1)100%の笑顔はこれだ!
- 2)都道府県別幸福度ランキング
- 3)話し合いの4つレベル

15:00～「対話の場」を活用した全国のまちづくりの事例

- 1)協働でサロンを開催できるようになることを目指した研修(例)
- 2)難しい会議を変えた事例
- 3)堅苦しい会議を変える方法
- 4)対話型議会報告会の基本的な考え方

◇第2日目:11月9日(金)

13:00～明るく前向きな議会報告会の事例

- 1)NPO 法人みらい建設部紹介 静岡県裾野市教育部生涯学習課市民協働室 宮坂 里司さま
- 2)NPO 法人みらい建設部 宮坂さまによる
静岡県裾野市議会 第5回議会報告会の開催の事例報告、所要時間、質疑応答等

15:00～明るく前向きな議会報告会の具体的な開催のコツ など

- 1)ファシリテーター即戦力入門
- 2)対話型議会報告会の極意
- 3)三重県ファシリテーターズが協力します
- 4)松阪市風船ボランティアが協力します

9. 所感

議会報告会を魅力あるものにしようとする内容等について現在、広報広聴委員会にて検討しています。市民の皆さまが意見を述べやすい環境とは一体どのようなものなのか、今回の対話型議会報告会のコツを学ぶ研修において、様々具体的なアドバイスを受けることが出来た。「市民の意見を聴く会」は、辞めたほうがいい。「忌憚りの無いご意見をお願いします」は「悪魔のセリフ」等は、目から鱗的なカルチャーショックを受けた。NPO みらい建設部の宮坂さまによる、静岡県裾野市で実施されている事例報告においても大変参考となり、約50分の議会報告、10分の会場移動と休憩、第二部の委員会ごとに分かれて約1時間50分のNPO みらい建設部主導によるワークショップ(テーマを設定した意見交換会)についても具体例と共に学ばせていただいた。参加者アンケートであった「議会報告会とは思えないような画期的でとても楽しいワークショップだった。議員と市民が同じテーブルで裾野市を直接考えられてすごいと思った。これがどのように計画や事業となっていくのか市民として見ていくのが楽しくなった。」というご意見からも松阪市議会においても早急に対話型議会報告会への取組みを進めていくべきと痛感した。